

## ペーパーロールクランプ、Hシリーズ登場！

さらに使いやすく生まれ変わりました

### 用途

従来モデルと比較して、さらに薄型のコンタクトパッドを備えたHシリーズロールクランプは、パッド挿入時のロール紙へのダメージを大幅に軽減します。

また、アーム／フレームのスリム化により、運転席からの視界性が飛躍的に向上し、クランプ作業の作業効率アップへも貢献します。

### オプション

- ワイヤレス圧力検知ユニット(WPM)
- クランプ材料/条件に合わせて最適なコンタクトパッドを選択可能
- 全面コンタクトパッド
- 自動回転制御ユニット（水平・垂直位置）
- 油圧比例弁式クランプ力調整ユニット(HFC)

### 特徴

- スプリットアームまたはソリッド(一体)アームどちらかを選択可能
- 超薄型コンタクトパッド搭載
- ダブルスプリング式パッド位置調整機構により、コンタクトパッドを最適な位置へ容易に調節
- スリムアームによるアーム間の視界性の向上
- アーム開閉速度の向上
- 多様なロールサイズに適したパッドデザイン
- パッドプロテクター
- ショートアーム固定型または開閉型どちらかを選択可能
- 強化型ローテータによる優れた耐久性



薄型コンタクトパッドで

ロール紙の

クランプ作業も

これまで以上に

ラクラク！

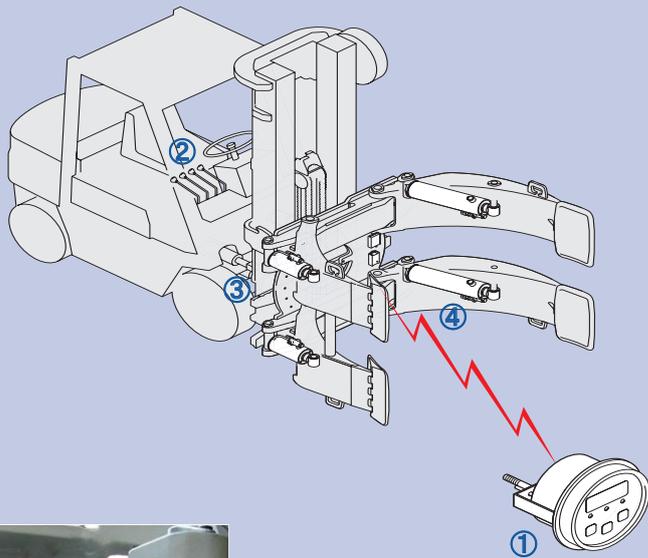
## ワイヤレス圧力検知ユニット(WPM)



ワイヤレス圧力検知ユニット(WPM)は、クランプシリンダの圧力をリアルタイムに計測し、モニタリングすることができます。

通常は、2本のロングアーム用シリンダの圧力平均値を表示しており、クランプ作業時に有用です。

クランプ後は、一定量(任意設定可能)圧力が低下すると、圧力値の表示数値が点滅するとともに、ランプ点灯およびブザーにてオペレータへ知らせますので、落下防止や安全装置としてお使いいただけます。



無線方式の圧力信号伝達の為、マストへの配線施工が不要となり、簡単に取付けできます。



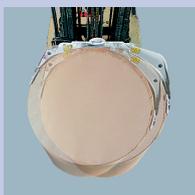
圧力信号発信器



圧カトランスデューサ

4本のシリンダ各々の圧力値を表示させることも可能です。これにより、シリンダのシールに問題があり圧力低下が頻繁に発生する場合、4本全てのシリンダを分解点検することなく、問題のあるシリンダを特定することが可能となります。

## スウィングフレーム



スウィングフレームにより、コンテナ内等狭い場所での、隅部のロールの設置や取出し作業が容易となり、作業効率が向上します。

## スプリットアーム



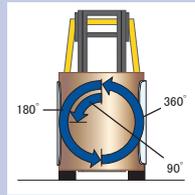
直径の異なる2つのロールをしっかりとつかみます。また、特許取得済みの油圧回路により、上部アームの最小の作動でロールをつかみます。

## 油圧比例弁式クランプ力調整ユニット(HFC)



油圧比例弁式クランプ力調整ユニット(HFC)は、ロール重量により変化するマストシリンダ油圧に合わせてクランプシリンダの油圧を自動調整するユニットです。

## 自動回転制御ユニット



360度クランプ回転中に、水平・垂直(90度・180度)位置で自動停止するよう設定することができます。